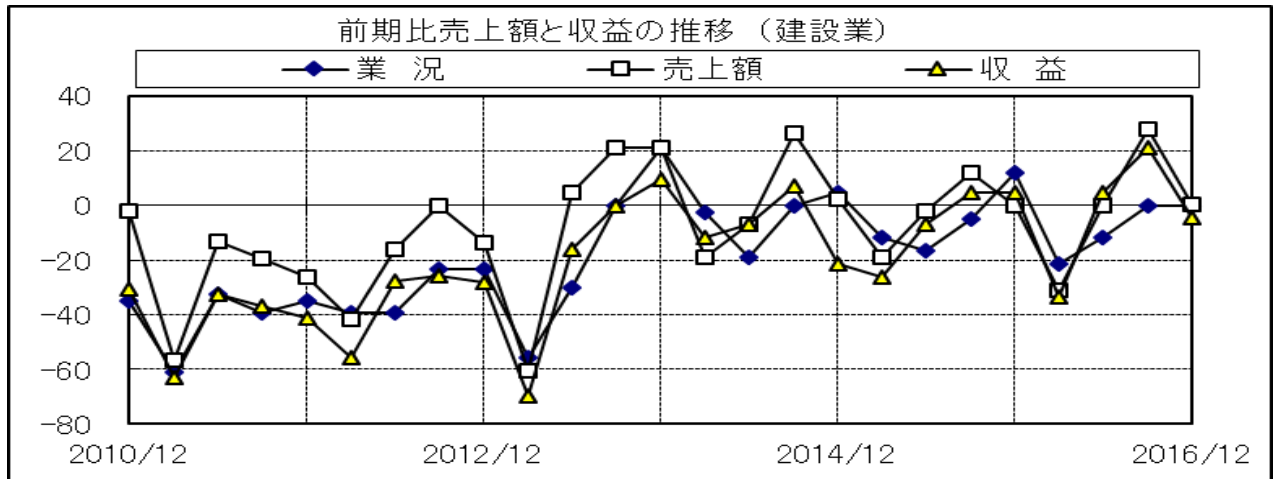


# 建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
業 況	-11.9	0.0	0.0	-20.9
売上額	0.0	27.9	0.1	-37.2
収 益	4.8	20.9	-4.7	-37.1

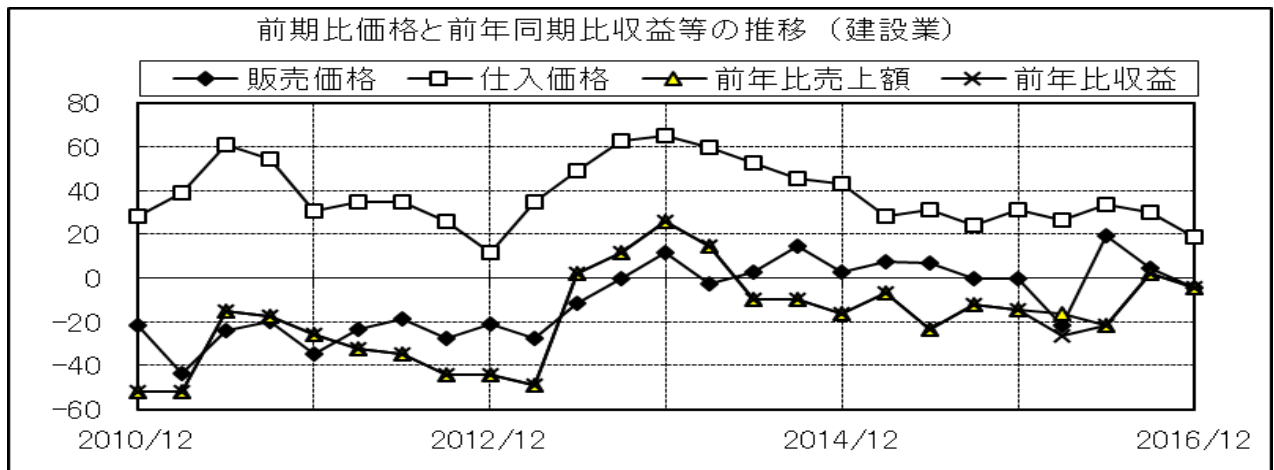
今期の業況判断 D. I. は 0.0 と、前期と同率となった。地区別 D. I. の水準は高い順に、静内、えりも、広尾、浦河・様似が同率で続き、三石が最も低い水準となった。前年比（11.9）で、11.9 ポイントの下降となった。売上額判断 D. I. は、前期比（27.9）で 27.8 ポイント下降した。収益判断 D. I. は前期比（20.9）で 25.6 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
請負価格	19.1	4.7	-4.6	-11.6
仕入価格	33.4	30.2	18.6	4.6

請負価格判断 D. I. は、前期比（4.7）で 9.3 ポイント下降。仕入価格判断 D. I. は前期比（30.2）で 11.6 ポイントの下降となった。請負価格は前年比（0.0）で 4.6 ポイント下降、仕入価格は前年比（31.0）で 12.4 ポイント下降した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
残業時間	-2.4	13.9	2.3	2.4
人手状況	-9.5	-25.7	-11.6	-6.9

残業時間判断 D. I. は 2.3 と前期比 11.6 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。人手過不足判断 D. I. は  $\Delta$ 11.6 と、前期比 14.1 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

## □ 設備投資の動き

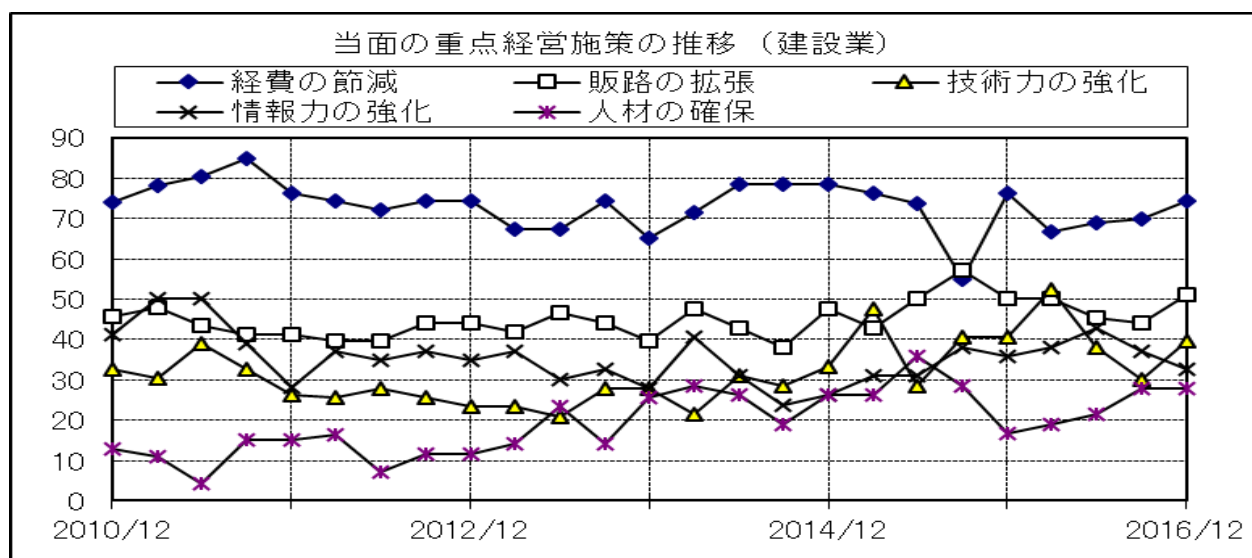
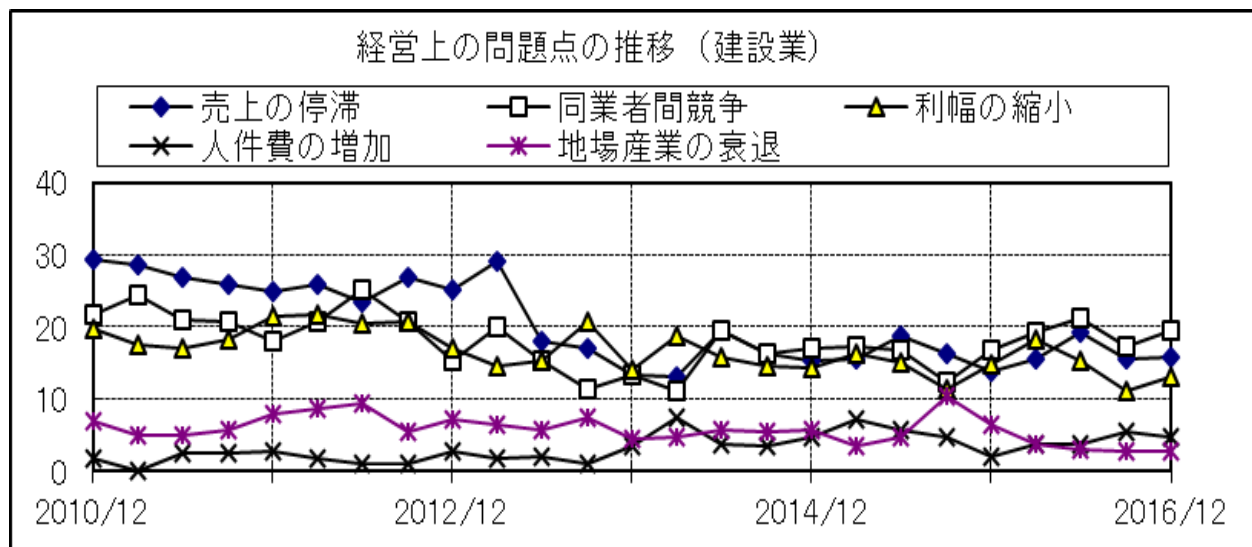
設備投資の充足感を示すD. I. は△9.3で、前期比2.4ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は9.3%と、前期比4.7ポイント下降、設備投資は、前期6社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競争」19.4%、「売上の停滞減少」15.7%、「利幅の縮小」13.0%、「人手不足」・「材料価格の上昇」・「大手企業との競争」・「下請けの確保難」が同率の8.3%、と続いている。

重点経営施策では、「経費を削減する」74.4%、「販路を広げる」51.2%、「技術力を高める」39.5%、「情報力を強化する」32.6%、「人材の確保」27.9%と続いている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△20.9と、今期比20.9ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△37.2と、今期比37.3ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△37.1と、今期比32.4ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は△11.6と、今期比7.0ポイントの下降を見通している。

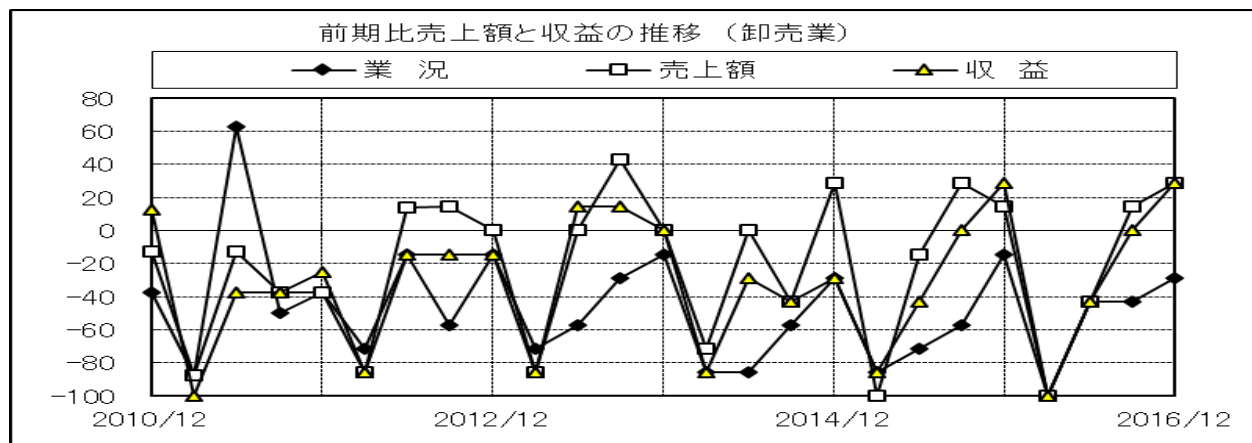
予想仕入価格判断D. I. は4.6と、今期比14.0ポイントの下降を見通している。

## 卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-42.8	-42.8	-28.6	-57.2
売上額	-42.8	14.3	28.6	-85.8
収益	-42.8	0.0	28.6	-85.7

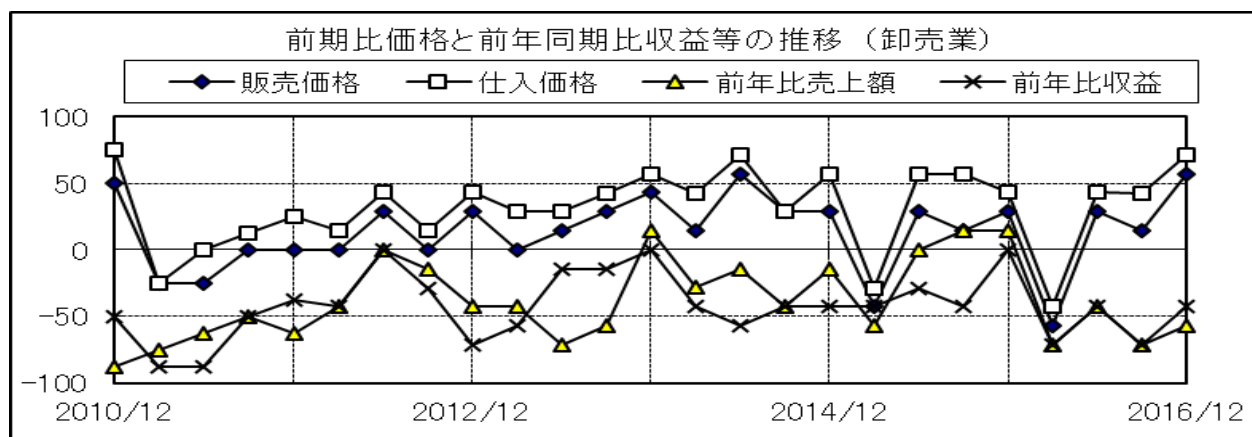
今期の業況判断 D. I. は△28.6 と、前期比 14.2 ポイント上昇した。地区別の水準は、浦河・様似地区が横這、静内地区は上昇となった。業況は、前年比（△14.3）で 14.3 ポイント下降した。売上額判断 D. I. は 28.6 と、前期比 14.3 ポイント、収益判断 D. I. は 28.6 と、前期比 28.6 ポイントそれぞれ上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	28.6	14.3	57.2	-57.2
仕入価格	42.9	42.8	71.5	-42.9

販売価格判断 D. I. は 57.2 と、前期比 42.9 ポイント、仕入価格判 D. I. は 71.5 と、前期比 28.7 ポイントの上昇となった。業種別では、水産業が、販売・仕入価格ともに上昇した。前年比では、販売価格（前年 28.6）は 28.6 ポイント、仕入価格（同 42.9）は 28.6 ポイント上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	14.3	0.0	0.0	0.0
人手状況	-42.9	-28.6	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同率のゼロ水準となった。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 と前期比 28.6 ポイント上昇、人手不足感が解消された。

## □ 設備投資の動き

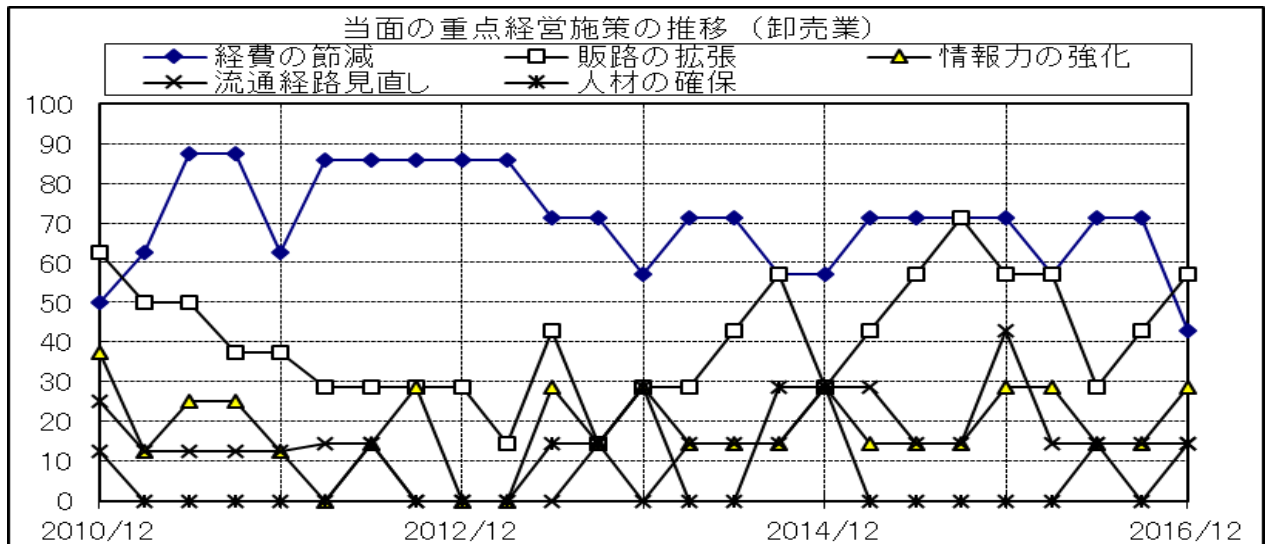
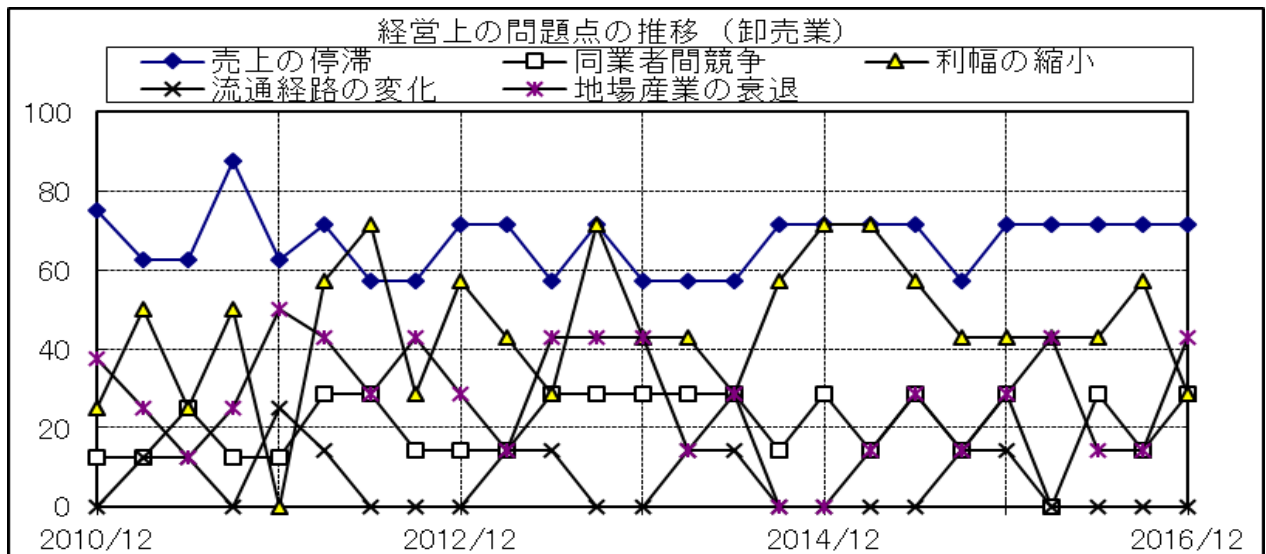
設備投資の充足感を示すD. I. は前期比横這いのゼロ水準となった。

設備実施企業割合は 57.1%と前期比 28.5 ポイント上昇、設備投資は、前期 2 社に対し、4 社の実績となった。来期の設備投資予定は 0 社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」71.4%、「地場産業の衰退」42.9%、「天候不順」・「取引先の減少」・「同業者との競合」・「利幅の縮小」が同率の 28.6%、「人手不足」・「合理化の不足」・「店舗の老朽化」がともに 14.3%で続いた。

重点経営施策では、「販路を広げる」57.1%、「経費の節減」42.9%、「情報力を強化する」28.6%と続き、「品揃えを充実する」・「新事業を始める」・「人材の確保」・「流通経路を見直す」・「不動産の有効活用」が同率の 14.3%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△57.2 で、今期比 28.6 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△85.8 で、今期比 114.4 ポイントの大幅な下降を見通している。

予想収益判断 D. I. は△85.7 で、今期比 114.3 ポイントの大幅な下降を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は△57.2 で、今期比 114.4 ポイントの大幅な下降を見通している。

予想仕入価格判断 D. I. は△42.9 で、今期比 114.4 ポイントの大幅な下降を見通している。